

松本秀峰 科学の甲子園出場へ

目指すぞ 県勢初V



松本市埋橋の松本秀峰中等教育学校に通う五年生（高校二年生）の八人でつくるチームが、来年三月に茨城県で開催される理科や数学などの成績を競う「第六回科学の甲子園全国大会」に出場する。十二日にあった県大会で初優勝し、全国大会出場を決めた。四十七都道府県から選出された高校チームと競つことになり、メンバーたちは「県勢初の全国優勝を目指す」と意気込んでいる。

（佐藤裕介）

科目別、担当決め勉強 チームワークは抜群

チームも可能なため、一緒に準備してきた田中葵さん（二）、角田光さん（二）も加わる。

市内の信州大松本キャンパスで開かれた県大会には、県内九校から十九チームが出場。

物理や化学、数学など六科目の問題を解答する筆記試験と理科や化学などの実験をする実技試験が出題された。

八人はこれまで、科目ごとの担当を決めて学校やメンバーの自宅などで勉強するなどして県大会に臨み、チームワークの良さも奏功して初の優勝を手にした。

県大会に出場したのは上嶋優太さん（二）、小林祐希さん（二）、塩原慧介さん（二）、松田優樹さん（二）、三沢竜太郎さん（二）、水橋大揺さん（二）の六人。全国大会には八人制

全国大会に出場するメンバーのうちの6人。（前列左から）塩原さん、田中さん（後列左から）上嶋さん、小林さん、松田さん、水橋さん＝松本秀峰中等教育学校で

全国大会を主催する国立研究開発法人科学技術振興機構（JST、埼玉県川口市）によると、長野県勢は十位以内に入ったことはなく、数学を担当している上嶋さんは「県チームで初の優勝を目指し、しっかり準備して本番に臨みたい」と話している。